

令和 7 年 7 月 21 日

令和 7 年度地域連携推進会議 開催等状況報告書

法人名

特定非営利活動法人

代表者職・氏名

精神障害者の暮らしを支える稚内市民会議

理事長 菅原 貴

(担当者： 菅原 貴 電話：0162-24-0559)

施設・事業所名	グループホームめぞん・ぱぱら		
所在地	稚内市はまなす2丁目12番5号		
定員数	7名	入所・入居者数	7名



施設・事業所作成の議事録等の添付により、以下の事項の記載を省略します。

該当する場合は、□を付けてください。

1. 会議の開催状況

開催日時	令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/>
開催場所	
会議の出席者	人数 <input type="text"/> 備考(所属、役職、職種等) <input type="text"/>
利用者	人 <input type="text"/>
利用者の家族	人 <input type="text"/>
地域の関係者	人 <input type="text"/>
福祉に知見のある人	人 <input type="text"/>
経営に知見のある人	人 <input type="text"/>
施設・事業所等職員	人 <input type="text"/>
会議の議題	
構成員からの要望、助言、感想等	
その他	

2. 施設・共同生活住居の見学実施状況

施設・住居名称										
施設・住居所在地										
定員数				入所・入居者数						
開催日時	令和	年	月	日	:	~	:			
見学の出席者	人数			備考(所属、役職、職種等)						
利用者	人									
利用者の家族	人									
地域の関係者	人									
福祉に知見のある人	人									
経営に知見のある人	人									
施設・事業所等職員	人									
構成員からの要望、 助言、感想等										
その他										

施設・住居名称										
施設・住居所在地										
定員数				入所・入居者数						
開催日時	令和	年	月	日	:	~	:			
見学の出席者	人数			備考(所属、役職、職種等)						
利用者	人									
利用者の家族	人									
地域の関係者	人									
福祉に知見のある人	人									
経営に知見のある人	人									
施設・事業所等職員	人									
構成員からの要望、 助言、感想等										
その他										

複数の共同生活住居を運営し、欄が不足する場合には、2ページ目を複製の上、3ページ目以降を作成してください。

理事長	副理事長	理事	事務局長	管理者	サビ管	職員

地域連携推進会議議事録

実施年月日	令和7年7月14日(月)			記録者 菅原 はるみ					
実施時間	14:00~15:40								
実施場所	グループホームめぞん・ぽぷら / みんなの部屋								
会議種別	定例 臨時 緊急 その他()								
進行役	菅原 貴		出席委員数	全9名のうち7名					
出席者	種別	所属・役職			出欠	氏名			
	利用者				<input type="radio"/>	佐藤 裕子			
	利用者の家族				<input type="radio"/>	寺澤 ひとみ			
	地域住民の代表	稚内消費者協会 / 理事			<input type="radio"/>	坂巻 フミエ			
		特非)宗谷ルンルン俱楽部 / 理事			<input checked="" type="checkbox"/>	阿部 政市郎			
	福祉に知見のある者	訪問看護ステーションこはく / 管理者			<input checked="" type="checkbox"/>	木村 麻耶			
		特非)ノース工房運営委員会 / 地域づくりコーディネーター			<input type="radio"/>	吉川 智子			
		相談支援事業祖ぼっぽ / 相談支援専門員			<input type="radio"/>	堀 利奈			
	経営に知見のある者	保険サービス株式会社 / 本店長			<input type="radio"/>	吉田 誠也			
	市町村担当者等	稚内市生活福祉部社会福祉課 / 主査			<input type="radio"/>	萩原 千賀子			
	事務局	法人 / 理事長 (GH 管理者 / 世話人)			<input type="radio"/>	菅原 貴			
		法人 / 副理事長 (GH サビ管 / 世話人)			<input type="radio"/>	木村 晃知			
		法人 / 理事			<input type="radio"/>	赤川 裕見子			
		法人 / 事務局長 (GH 主幹 / 生活支援員)			<input type="radio"/>	菅原 はるみ			
会議次第 及び議題	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 参加者紹介 5 「地域連携推進会議」の設置経緯及び趣旨説明 6 議題 (1)施設等やサービスの透明性・質の確保について (2)施設等と地域との連携について (3)利用者の権利擁護について (4)その他特に必要と認められた事項について 7 質疑応答 8 閉会								
会議用 資料等	①「地域連携推進会議」の概要 グループホームめぞん・ぽぷら地域連携推進会議設置運営要綱 グループホームめぞん・ぽぷら重要事項説明書 法人沿革 グループホームめぞん・ぽぷら平面図 令和6年度事業実績報告書 令和6年度決算書								

	<p>14時00分 司会役の木村晃知（サービス管理責任者）の開会宣言により次第に基づき当該会議を開始した。</p> <p>当該会議の開催に先立ち、当該事業所の管理者である菅原 貴が、各委員に委嘱状を交付した。</p> <p>次に、当該会議の開催にあたり、当該事業所の管理者である菅原 貴が、当該事業所を運営する「特定非営利活動法人精神障害者の暮らしを支える稚内市民会議」の理事長である立場から参加委員に対し挨拶をおこなった。</p> <p>次に、菅原管理者が出席委員及び事務局員を紹介した。</p> <p>次に、今回の会議が、地域連携推進会議の設置後初めての会議、また、全委員が就任して初めての会議であるということから、菅原管理者が配布資料①～②に基づき「地域連携推進会議」の設置経緯及び趣旨説明をおこなった。</p> <p>次に、当該事業所の「地域連携推進会議設置運営要綱」の第3条第1項（3）号の定めに基づき、菅原管理者が進行役となり議事に入った。</p> <p>今回の会議が、地域連携推進会議の設置後初めての会議、また、全委員が就任して初めての会議であるということから、議題（1）から（4）を一括審議することが事務局から示され、議事の進行上、菅原管理者が事務局という立場で配布資料～に基づき、議題に関わる事項を中心に詳細な説明をおこなった。</p> <p>なお、進行役からの要請により吉田委員が当該事業所が加入する「損害賠償保険」の代理店担当者の立場から、その補償内容等について口頭にて説明をおこなった。</p> <p>議事録 次に、説明の修了後、質疑応答に入り、進行役から説明内容に対する質問等の有無を確認したところ、参加委員から質問事項はなかった。</p> <p>続いて、進行役が指名し、事務局からの説明等および議題（1）から（4）に関係する事項への感想等を求め、以下のような感想が述べられた。</p> <p>先ず最初に、佐藤委員（入居者）から、平日と土日祝日別に朝5時の起床から夜10時の就寝までの間（一日）の過ごし方、職員からの支援内容等が詳細に説明された。</p> <p>続いて、グループホームめぞん・ぽぷらでの生活への感想として「とても、快適で安心した生活を送っている」と述べられた。</p> <p>次に、寺澤委員（入居者の家族）から、入居者である実妹が本年4月に入居するまでの間の感想、入所後の感想として以下のように述べられた。</p> <p>こちら（グループホームめぞん・ぽぷら）に来る前は、三年前に母親が骨折して緑風苑に入居することになってから（妹は）一人で生活していました。（グループホームへの入居を検討していたところ）去年12月に母親が亡くなったものですから、（落ち着くまでグループホームへの入居を）待ってもらって、雪が多くて家のところに入れないものですから、やっと4月になってこちらに引っ越し（入居）しました。</p> <p>（妹は一人で生活していたときは）食事の面もけっこう、夕食とかは、自分で作っていたんですが、こちらでは提供してくれますし、（妹は）美味しいということで、とっても嬉しがっており良かったです。夜もこちらではちゃんと見守ってくれる人がいるので、とっても安心しています。良かったなど、すごく助かっています。（職員の）みなさん本当に良くしてもらって、とてもありがとうございます。</p>
--	--

次に、坂巻委員（地域の代表）から、事務局によるグループホームの説明等、佐藤委員、寺澤委員の述べた感想等を踏まえて、以下のような感想が述べられた。

私の（統合失調症だった）実弟は、昨年亡くなつたんですけど、今回の説明を聞いて後悔ばっかりです。神奈川県に住んでいたんですけど、先ほどの説明で、（障害福祉サービスの場合）グループホーム以上の入所施設がない、重度の人の（入所できる）施設が無いということで、そういう色々なことを全然知らなくてですね、（弟が住んでいた）市の障害の（担当）課とか、地域包括センターとかに行つても何にも教えてくれなくて。弟の場合は統合失調症に認知症も加わってきたんですが、施設（での生活）は嫌だということで一人暮らししていたんですが、ヘルパーさんたちが見たくない、どこの事業所さんも見たくないということで、放りっぱなし。介護放棄みたいな感じで、家中がひどい汚物だらけになつてしましました。地域包括センターの方は、「稚内なんて遠いところに家族がいてダメじゃないの」みたいなことも言われ、「とにかく面倒を見ませんからね」と言わされました。

何とか（掛け合つて）地域包括支援センターが（入所が可能な介護施設に）つなげてくれて、たぶん（入所は）優先になるからということだったんですが（要介護認定の結果が）非介護になっちゃたんです。それでちょっと滅茶苦茶な感じになつた時に、サ高住に入れようとなつたのですが、サ高住では面倒がみられないところで、もう一度、地域包括支援センターにいって違うケアマネージャーさんが「こりや介護保険非対象ということはない」ということで、（要介護認定を）やりなおして要介護3にはなつたんですけど、徘徊や部屋中を（汚物で）汚す、全然（職員の）言うことを聞かないとか、色々なことがあって、施設ではこういう人は受け付けられないということとなり、とにかく行き場がない状態になりました。

色々探して、ようやく、（受け入れてくれる）サ高住を見つけ、後見人をつけて入居したんですが、しばらくして嚥下困難の状態のときに誰も見ていなかつたようで、食事の時に。たぶん職員さんが一人で、誰もその人（弟）を見ていなかつたので、ひとり倒れていたんです。（食べ物を）詰まらせて。それで、誰も（最後を）見ていなかつたということで、警察が入つて、不審死ということになつて（司法）解剖をおこなうことになつたんです。それで（私も）かけつけたんですけどね。もっと（弟のような障害者に対して）どんな支援があるのか、色々なところに行って話を聞いたり、市の方とも話し合つてもよかったですと後悔ばっかりしています。

次に、吉川委員（福祉に知見のある方）から事務局によるグループホームの説明等、佐藤委員、寺澤委員、坂巻委員の述べた感想等を踏まえて、以下のような感想が述べられた。

この法人の歴史を知らなかつたので、聞いていて驚きました、本当に色々な紆余曲折が、しかも、このマチでも（グループホーム建設反対運動などが）あつたということ自体、私は知らず、そこが本当に驚いたところです。（そういう出来事は）大都市ぐらいなのかなと思っていたのですが、稚内でも、本当に身近にあったのだなという歴史的な感想と、では今はどうなんだろうというところも重ねて考えたときに、何かできることは無いのかなという思いにもなつて聞いていました。

やっぱり、「親なき後」とか、精神の方の認知症とか、知的障害の方の認知症とか、高齢化も、これから、ぜつたい、どんどん人口の割合的にも進んでいきますし、事業所の不足とか、働く人の不足とか、ぜつたい起きてくるのは見えているんですけど、そうは言っても、現実的に厳しいのはあるけど、このマチから出ていくとかっていうところも、やっぱり、なんか寂しいな thought たりしています。

このようにずっと（この法人が）地道にやられているというところでは、なんか、なかなか広がつてはいかないのかもしれません、新しい法人ができるかとか、なかなか広がつていかないのかもしれませんけど、でも、同じ、市内の事業所としても、連携をとらせていただきながら、なんか支えあっていけたらなと思いました。

次に、堀委員（福祉に知見のある方）から、事務局によるグループホームの説明等、佐藤委員、寺澤委員、坂巻委員の述べた感想等を踏まえて、以下のような感想が述べられた。

先ずは今回、（この会議に）呼んでいただいたことを感謝します。私が所属しているのは「相談支援事業所ぼっぽ」というところなんですが、ぼっぽは昨年8月に開所して、まだ1年経たない事業所なんですが、そこで木村（サビ管）さんからお電話いただきて相談支援専門員になって初めて寺澤さんの妹さんの相談というところで関わらせていただいたて、グループホームを検討していく、どういう流れでやっていくかというのを初めてさせていただいた方が寺澤さんの妹さんだったのですが、すごく寺澤さんとも木村さんともすごく丁寧に情報提供していただきながら進めたことで、本当ちょっとしたこと、例えば自分の持っているテレビを寺澤さんの妹さんは（グループホームに）持ってきたいという希望があったんですが、けっこう大きいテレビでお姉さんも私もそれはどうだろうねーというところの、ちょっとしたことかもしれないことなんんですけど、本人にとってはすごく重要なことで、でもこここのグループホームは「あ、イイよ。持っておいで」と言ってくれたんです。そこで「ここのグループホーム、イイかもね」とそういうエピソードがあったりして。

でもグループホームの中身ってなかなかわからないところがあったりして、ちょっと私の中でも手探りの状態ではあったのですが、今日の（会議で）お話を聞かせていただいて「すごく開かれたグループホームなんだなあー」ということを実感させていただきました。できれば私の関わる方たちには「めぞん・ぽぷら悪くないよー」と言つていきたいなと思いました。

次に、進行役が、これら指名された委員からの感想等に対する質問や意見、感想等、また、会議全体に関する質問や意見等がないか出席委員に確認したところなく議事を終了した。

15時40分 司会役の宣言により当該会議は閉会された。

理事長	副理事長	理事	事務局長	管理者	サビ管	職員

見学会（施設訪問）実施記録

実施年月日	令和7年7月14日（月）			記録者	菅原 はるみ				
実施時間	15:40～16:10								
実施場所	グループホームめぞん・ぽぷら								
見学会種別	定例 臨時 緊急 その他（ ）								
進行役	菅原 貴		出席委員数	全9名のうち7名					
出席者	種別	所属・役職			出欠	氏名			
	利用者				<input type="radio"/>	佐藤 裕子			
	利用者の家族				<input type="radio"/>	寺澤 ひとみ			
	地域住民の代表	稚内消費者協会 / 理事			<input type="radio"/>	坂巻 フミエ			
		特非) 宗谷ルンルン俱楽部 / 理事			<input checked="" type="checkbox"/>	阿部 政市郎			
	福祉に知見のある者	訪問看護ステーションこはく / 管理者			<input checked="" type="checkbox"/>	木村 麻耶			
		特非) ノース工房運営委員会 / 地域づくりコーディネーター			<input type="radio"/>	吉川 智子			
		相談支援事業組ばっぽ / 相談支援専門員			<input type="radio"/>	堀 利奈			
	経営に知見のある者	保険サービス株式会社 / 本店長			<input type="radio"/>	吉田 誠也			
	市町村担当者等	稚内市生活福祉部社会福祉課 / 主査			<input type="radio"/>	萩原 千賀子			
	事務局	法人 / 理事長 (GH 管理者 / 世話人)			<input type="radio"/>	菅原 貴			
		法人 / 副理事長 (GH サビ管 / 世話人)			<input type="radio"/>	木村 晃知			
		法人 / 理事			<input type="radio"/>	赤川 裕見子			
		法人 / 事務局長 (GH 主幹 / 生活支援員)			<input type="radio"/>	菅原 はるみ			
見学会次第及び議題	1 開会 2 あいさつ 3 見学会（施設訪問）実施の趣旨説明 4 見学会 (1) 職員・利用者との関係づくり (2) 事業所の環境や事業運営の確認 (3) 職員・利用者とのコミュニケーションを通じた、事業所の環境、利用者・職員の様子などの確認 5 意見交換 6 閉会								
見学会用資料等	①「施設訪問（見学会）」の概要 グループホームめぞん・ぽぷら地域連携推進会議設置運営要綱 グループホームめぞん・ぽぷら重要事項説明書 グループホームめぞん・ぽぷら平面図								

議 事 錄

15時40分 司会役の木村晃知(サービス管理責任者)の開会宣言により次第に基づき当該見学会を開始した。

当該見学会の開催にあたり、当該事業所の管理者である菅原 貴が、当該事業所を運営する「特定非営利活動法人精神障害者の暮らしを支える稚内市民会議」の理事長である立場から参加委員(地域連携推進員)に対し挨拶をおこなった。

次に、今回の見学会が、地域連携推進会議の設置後初めての見学会、また、全委員が就任して初めての見学会であるということから、菅原管理者が配布資料①～②に基づき「見学会(施設訪問)」を実施する趣旨説明をおこなった。

特に、見学会(訪問)の意義、見学する際のポイント、地域連携推進員としての心がけ(特に守秘義務)を重点的に説明した。

次に、当該見学会の実施に先立ち、菅原管理者が、配布資料～に基づき当該グループホームの建物や設備等、利用者自治会に関する説明をおこなった。

続いて、木村サービス管理責任者が、参加委員(地域連携推進員)に対し、最初に、会議を開催した「みんなの部屋(食堂)」の利用の仕方、設備等の説明をおこない、続いて、平面図に基づき、1階のトイレ、風呂、洗濯場、2階の居室の一部、トイレの順に、グループホーム内を案内し、(1)職員・利用者との関係づくり、(2)事業所の環境や事業運営、(3)職員・利用者とのコミュニケーションを通じた、事業所の環境、利用者・職員の様子などの3点を重点的に説明し、同時に、見学会に先立ち開催した地域連携推進会議での説明等を補足するかたちで説明をおこない、これら内容について参加委員(地域連携推進員)が確認をおこなった。

次に、菅原管理者が進行役となり、質疑応答に入り、見学会における説明内容に対する質問等の有無を確認したところ、参加委員から質問事項はなかった。

続いて、進行役が指名し、「職員・利用者との関係づくり」、「事業所の環境や事業運営」「職員・利用者とのコミュニケーションを通じた、事業所の環境、利用者・職員の様子など」の3つの事項に関する感想等を求め、以下のような感想が述べられた。

先ず最初に、萩原委員(施設等所在地の市町村担当者)から、見学会及び見学会に先立ち開催された地域連携推進会議における事務局の説明等、各員の感想等を踏まえて以下のような感想が述べられた。

稚内はこういった共同生活を嘗むようなグループホームしかないんですけど、やはり、そうなってくると、みなさんそれぞれの居室で顔を会わせる機会がすごく多いので、入居者さん同士の仲とか、障害のある方の入られる施設なので、やっぱり障害特性についていろいろ思いが一緒にならないこともあるかもしれないですが、(利用者)自治会がきちんと維持されているということからすると、すごく皆さん、それぞれ、共同生活という部分で、すごく馴染むようなかたちで(生活)されているんだなということがよくわかりました。

けっきょく、やっぱり人間なので、合う合わないとかっていう話も多々聞くんですけど、今、皆さんたちが楽しく、(ここに利用者の)佐藤委員もいらっしゃるんですけども、生活されているという部分については、その部分、一番うまく、それぞれ折り合いつけながらやってられるっていうことが、やっぱり生活する上で一番大切なところだと思うので、「皆さん仲良く!」というわけではないんですけども、それぞれ自分の「パーソナルスペース」を保ちながら、これからもずっと楽しく生活していくだければ良いんじゃないかなと思いました。

次に、吉田委員（経営に知見のある方）から、見学会及び見学会に先立ち開催された地域連携推進会議における事務局の説明等、各員の感想等を踏まえ、また、当該事業所が加入する「損害賠償保険」の代理店担当者の立場から以下のような感想が述べられた。

保険屋さん目線としては、（菅原）理事長と年に1回、2回程度しかお会いすることがなく、ここで保険の手続きをするんですが、こういった施設がどういうものなのかということが全く解からなかったので、本当に今回、勉強になって良かったなと思います。

実際、どういう活動されているのかというのをほとんど解っていない状況の中で、保険屋さんとしては本当に最適なものを扱てるのかどうか不安ではあったんですが、（今回の会議と見学会を通じて）色々と知れた部分があるので、今後、最適な（保険）商品だったり、例えば助成金の制度だったり、そういうアドバイスをしていければなと思いました。

次に、進行役が、これら指名された委員からの感想等に対する質問や意見、感想等、また、見学会全体に関する質問や意見等がないか出席委員に確認したところなく議事を終了した。

16時10分 司会役の宣言により当該見学会は閉会された。